

図書館バックヤード

『うちどくのすすめ』

「うちどく」という言葉を知っていますか？

「うちどく」とは「家庭読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、家族みんなで読書をすることで家族のコミュニケーションを深めることを目的とした読書活動のことです。

「うちどく」には特別なルールはなく、基本的には読んだ本について家族で話すということだけです。基本をおさえれば、家族で同じ本を読んでみるとか、図書館や本屋さんに行く日をつくるなど、それぞれのご家庭にあった方法で自由にはじめることができます。

この「うちどく」を推進するために図書館では、こども園・小学校・中学校にうちどくにおすすめしたい本を載せた“うちどくりスト”を毎年夏休み前に配布しています。ぜひリストを活用して「家庭読書」を楽しんでいただければと思います。

配布しているうちどくりストは毎年更新していますので、昨年リストを確認した方も新しい本に出会えるはずです。

図書館では毎月新しい本が入ってますので、この機会にぜひ「家庭読書」にも役立ててほしいと思います。



新刊図書

《一般書》

謎の香りはパン屋から 2	土屋うさぎ
沈黙の町で	奥田 英朗
金波銀波	澤田 瞳子
ノスタルジア	島本 理生
#台所のあるところ	原田 ひ香
憤怒の人一母・佐藤愛子のカケラー	杉山 響子

《児童書》

えっさほいさ	たなかひかる
いろいろ色のはじまり	田中 陵二
ゆめのなかの名探偵	杉山 亮
巨大地震のサバイバル	洪 在徹
せんせいはかいじゅうなの？	塚本やすし
小学生から知っておきたい	
よのなかキーワード70	齋藤 孝

新刊図書おすすめ!!



『ふしぎ草子』
作：富安 陽子
絵：山村 浩二
出版社：小学館

誰もいない音楽室から聞こえるピアノの音、深い霧に迷い込んでしまった少年、地元の人も知らない温泉で聞いた不思議な話などなど、不思議でちょっとこわい話が8話載っている短編集です。

1話が15分もあれば読めるので朝読などにぴったりの本です。長い話が苦手な方にも読みやすい分量で、読書は苦手だけどちょっと長い話に挑戦したいなという時はぜひ手に取ってみてほしいと思います

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。
http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php

